

インフラメンテナンス国民会議（平成28年11月28日設立）

インフラを良好な状態で持続的に活用するために、産学官民が一丸となってメンテナンスに取り組む社会の実現に向けて、インフラメンテナンスの理念の普及、課題の解決及びイノベーションの推進を図り、活力ある社会の維持に寄与することを目的に設立された。

インフラメンテナンス国民会議の目的

1. 革新的技術の発掘と社会実装
2. 企業等の連携の促進
3. 地方自治体への支援
4. インフラメンテナンスの理念の普及
5. インフラメンテナンスへの市民参画の推進

革新的技術の実装／企業等の連携／自治体支援



マッチングイベントの開催



実証実験の実施



自治体職員向け勉強会



自治体の課題解決に向けた意見交換

産学官民の技術や知恵を総動員するプラットフォームとして活動



国民会議参加会員数（者）

	設立時 (H28.11.28)		現在 (R6.11.13)
計	199	約16倍	3,099
行政会員	73	約20倍	1,466
企業会員	95	約11倍	1,072
団体会員	27	約7倍	184
個人会員	4	約94倍	377

会員の規模も拡大し、活動が本格化（自治体の加入率は8割以上！）

⇒ 新たな取組を進める自治体・民間企業の課題解決等を支援

理念の普及／市民参画の推進



学生の道路点検体験



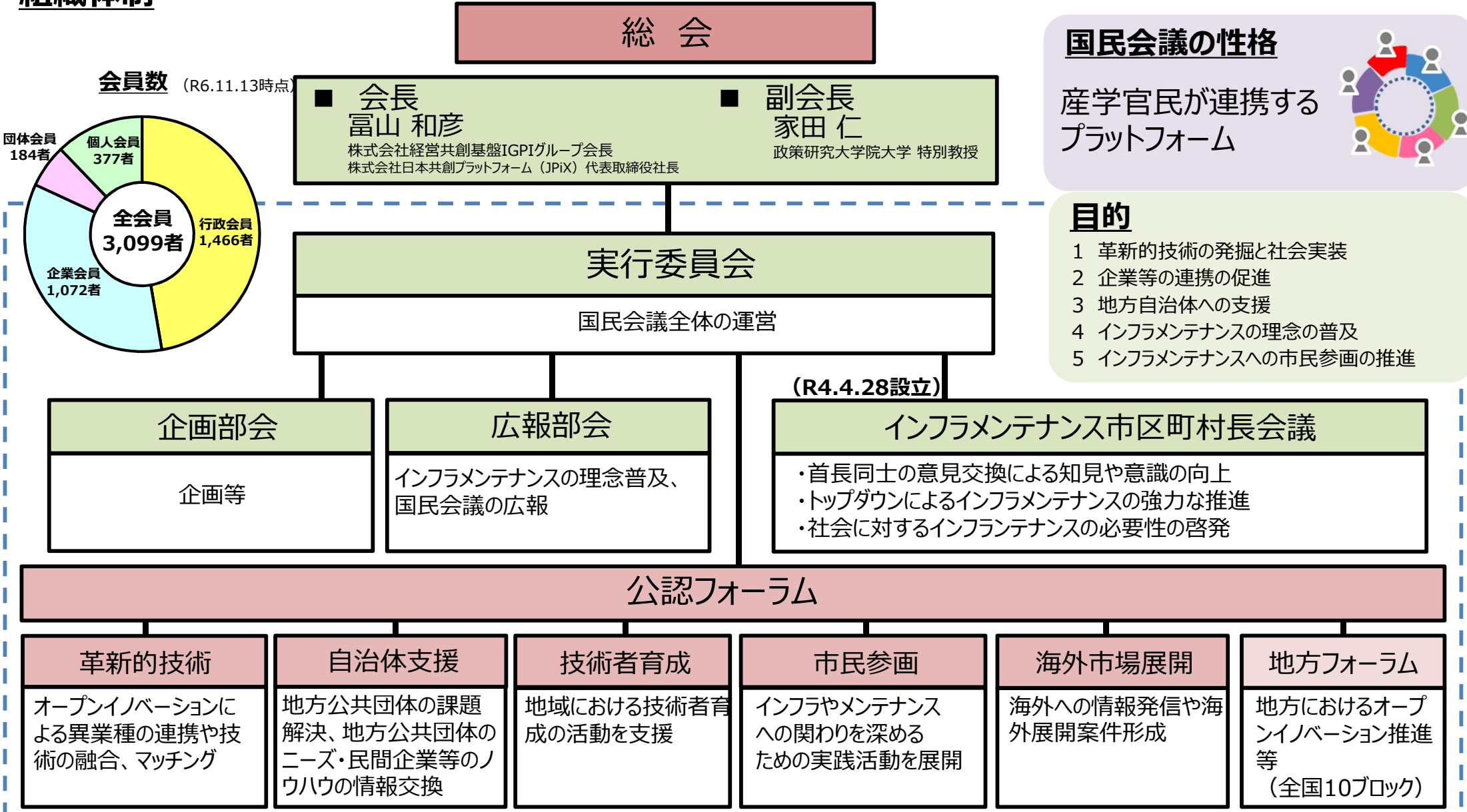
展示会への出展



セミナーの開催

「インフラメンテナンス国民会議」の推進体制

組織体制





「インフラメンテナンス国民会議」の組織体制

組織体制

総会

■ 会長
富山 和彦

株式会社経営共創基盤IGPIグループ会長
株式会社日本共創プラットフォーム(JPIX)代表取締役社長

■ 副会長
家田 仁

政策研究大学院大学 特別教授

実行委員会

国民会議全体の運営

企画部会

企画等

広報部会

インフラメンテナンスの理念普及、
国民会議の広報

【目的】

- ・ 首長同士の意見交換による知見や意識の向上
- ・ トップダウンによるインフラメンテナンスの強力な推進
- ・ 社会に対するインフラメンテナンスの必要性の啓発

(R6.11.13時点)

1,183の首長が参画

<参画率約7割！>

(R4.4.28設立時点：694)

インフラメンテナンス市区町村長会議

〈代表幹事〉東京都稲城市長

北海道ブロック

ブロック幹事
北海道網走市長

東北ブロック

ブロック幹事
岩手県宮古市長

関東ブロック

ブロック幹事
東京都稲城市長

北陸ブロック

ブロック幹事
富山県氷見市長

中部ブロック

ブロック幹事
岐阜県大野町長

近畿ブロック

ブロック幹事
兵庫県養父市長

中国ブロック

ブロック幹事
岡山県総社市長

四国ブロック

ブロック幹事
高知県須崎市長

九州・沖縄ブロック

ブロック幹事
熊本県熊本市長

連携

土木学会

支援・連携

公認フォーラム

革新的技術

オープンイノベーションによる異業種の
連携や技術の融合、
マッチング

自治体支援

地方公共団体の課題解決、地方公共
団体のニーズ・民間
企業等のノウハウ
の情報交換

技術者育成

地域における技術
者育成の活動を支援

地方フォーラム

地方自治体(ニーズ)と民間(シーズ)のマッチング等を行うため、地方フォーラムを展開(全国10ブロック)。平成30年度より取組開始。

北海道フォーラム

フォーラムリーダー
高野 伸栄
北海道大学大学院

東北フォーラム

フォーラムリーダー
石川 雅美
東北学院大学

関東地方フォーラム

フォーラムリーダー
長山 智則
東京大学

北陸インフラメンテナンスフォーラム

フォーラムリーダー
丸山 久一
長岡技術科学大学

中部フォーラム

フォーラムリーダー
原田 和樹
日本工営都市空間(株)

近畿本部フォーラム

フォーラムリーダー
片岡 信之
(一社)国土政策研究会

「ちゅうごく」

フォーラムリーダー
藤井 堅
広島大学

四国地方フォーラム

フォーラムリーダー
矢田部 龍一
愛媛大学

九州フォーラム

フォーラムリーダー
日野 伸一
久留米工業大学

沖縄フォーラム

フォーラムリーダー
有住 康則
琉球大学

参画・情報共有

会 員